

教科との関連の実際

<ミックスタイムと教科との関連>

旭ヶ丘小のミックスタイムの教科との関連は、独立型と発展型の範疇に入るものであるが、関連の仕方は、3つのタイプがあると考える。

ミックスタイムの課題の追究に生きる方法知を教科学習で学び、実際の力として多様な場で使っていくもの。

教科学習の内容が、ミックスタイムの課題作りや内容に生きる。また、心のひろがりにつながるもの。

ミックスタイムの体験が教科学習の共通の題材や選択の題材になるもの。

このように活動内容と関連の仕方を明確にもつことによって、より有機的に関連させていくことができる。そのことがミックスタイム・教科学習共に充実させることにつながるはずである。それを意識的に計画的に行うことが必要である。指導計画に位置付け、明確にしておくことから始めなければならない。

教科との関連表 5年生 学年テーマ『氷見の体験活動を成功させよう』 全40時間

	総合的な学習の時間	方法知	スキル	内容知	心のひろがり
4	関市の姉妹都市 氷見市 (2)			【学活】氷見体験活動に向けて ・ 昨年の氷見体験活動を利用し てのオリエンテーション 魚の町氷见到っぷり とつかる	
5	氷見を調べて氷 見博士になろう 十二町小の子と 仲良くなろう (7)	【国語】依頼の手紙・お礼の手紙 調べて分からないことを教えてもらう。 ・ 相手を想定し、目的や意図に応じて、依頼 状と礼状を形式を整えて書く。 ・ 伝えることを中心を明確にし、構成を工夫 して書く。			氷見の小学校との交流
	調べたことをま とめ交流しよう (3)	【国語】調べたことを整理して書こう ・ 課題に応じて調査方法を選び、調べたこと を項目毎のカードに整理する。 ・ カードを活用し、見出しを工夫したり構成 を意識したりして書く。 ・ 多くの人に知らせるための効果的な方法を 知る。			
6	氷見の漁業につ いて詳しく調べ よう (5) 漁業新聞等	【社会】日本の水産業 (水産業のさかんな八戸市) ・ 問題解決学習 課題決定、調べ方、資料の 利用の仕方、まとめ方		【社会】日本の水産業 ・ 漁業の盛んなわけ ・ 水産業の変化 ・ 漁師の工夫 ・ 養殖や栽培漁業や運輸などの 工夫	

	<p>十二町小との交流会の準備をしよう (5)</p> <p>氷見体験活動 (7)</p> <p>お礼の手紙(1)</p>		<p>【学活】氷見体験活動 ・係会・冊子作り</p> <p>【道徳】お別れ会 (役割と責任の自覚)</p> <p>【道徳】ことばのおくりもの (信頼友情・助け合い)</p> <p>十二町小からの返事</p>
9	氷見の体験をまとめ発信しよう (10)	【国語】体験したことを 分かりやすく伝えよう ・体験したこと、考えたことを下級生や家の人など相手を決めて分かりやすくスピーチする。	【体育】表現活動 ・氷見の盛んな漁業を踊りで伝えよう。 「プリンスサンバ」
10	氷見新聞を作ろう 発表課題別活動 発信(集会等)	『だれに、何を、どのように』 詳しく書く部分と簡単に書く部分 効果的な資料の準備 わたしたちの学校生活 組み立て 作文	【図工】 ・氷見の体験を絵に表そう
11		【国語】地球環境について考えよう ・課題について調べたことを整理して資料を作り、自分の考えを発表する。 ・分かりやすく効果的な資料を作成する。	【国語】地球環境を考えよう(子ども環境会議) ・氷見の海岸でのごみについて思い出し環境汚染について地球的な見方ができるようにする。
12		【国語】インタビュー名人になろう ・目的や内容を明確にし、相手に応じた言葉遣いでインタビューしよう。	
1		【国語】伝え方を選んで、 ニュースを発信しよう	【社会】私たちの生活と環境 ・氷見の海岸の様子などを学習に生かす。
2		・聞き手に分かりやすいように組み立てを考えて話す。 ・相手の意図を考えながら聞く。	【図工】ほったり、すったり ・交流の様子で心に残った場面を版画に表す。
3			

課題追究学習を特に、社会・理科・算数で意識して推進する。